



仲間が集まって手作りの選挙を行っています



一日一日を大切に生きられる東京

物価高など市民への切迫した課題に縦割り行政の「壁」を超えて取り組みます

物価高対策

- お米の価格の適正化
- 水道代基本料金を今夏限定で4ヶ月間無償化(6・7月から)
- ガソリン等燃料費の値下げ
- 電気・ガス料金への補助

子育て支援

- 第1子の保育料の無償化
- 公立小中学校の学校給食無償化の自治体負担の削減
- 保育、家事、習い事、塾等子育てサービスへのポイント支給

高齢者支援

- 高齢者の日常の交通手段を様々な方法を検討し確保
- ガンや認知症の簡易検査キットの配布で早期発見へ
- 市立病院の経営を立て直し都からの財政支援を拡大

日野市・東京都・国と連携し財政非常事態宣言の早期解除を！

日野市の財政が悪化し、財政非常事態宣言がなされています。毎年必ず発生する固定的な経費が大きくなり、新たな事業を行うことができない状態です。現在、区画整理事業への補助金も削減されるなど、街づくりが減速しています。日野市独自で全てを解決するのは困難ですが、国と東京都との連携を強化し、適切な財政支援を受けることにより街づくりを前進させ、経済の好循環を生み出すことができます。是非、私にお力をお貸しください。



- 適切な財政支援により経済の好循環で景気回復を！
- 20号バイパスや都市計画道路の整備、モノレールの延伸で日野市に賑わいを！
- 多摩川・浅川の不適格堤防の整備をさらに進め水害から市民を守ります！

略歴

昭和35年日野市生まれ。日野第四小学校、日野第一中学校、日本大学附属明誠高等学校、明星大学人文学部経済学科卒業。平成18年日野市議会議員初当選、4期連続当選、第29代・30代日野市議会議長。令和2年都議会議員初当選。令和3年の都議選で惜敗。

詳しくはWebで



西野正人

自民党公認にしのまさひと